

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般 - 09

学校名・団体名	日立市立十王中学校
HPアドレス	http://www.city.hitachi.lg.jp/juo-j/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	「100年後に残る伝統を創る」 ～鶺鴒舞の伝承を通して～
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>地域の特色を生かす「十王鶺鴒舞」の伝統継承をとおして、生徒相互、生徒と教職員の好ましい人間関係づくりを図る。また、地域や保護者との関わりをとおして、ふるさと十王を愛する心を育成する。</p>	

1 鶺鴒舞について

十王中学校では、日立市と十王町が2004年に合併したのを機に、創作芸能「十王鶺鴒舞」を誕生させた。「十王鶺鴒舞」は日立市十王町が全国唯一の鶺鴒の捕獲地であることや、地名の由来となっている10人の王伝説をモチーフに創作されたものである。本校では、例年2年生が中心となり鶺鴒舞に取り組み、3年生が舞い方や道具作りを教えている。また、1年生はその様子や体育祭で発表される鶺鴒舞を見て伝統を継承する気持ちを高めている。さらに、地域や保護者の方々に衣装作りや道具の搬送などの協力をえてこの事業を進めている。今年度は、毎年参加している「ひたち秋祭り」、「十王地区運動会」、「本校体育祭」、「第4回日本PTA関東ブロック研究大会茨城大会」で本事業の成果を発表した。

2 対象者 2年生(144名)

3 教科領域等 総合的な学習の時間、保健体育

4 活動時期及び内容

4月 ・組織・年間計画の見直し ・Jサポーターの依頼

5月 ・鶺鴒舞の実行委員会の発足(生徒主体) ・鶺鴒舞の練習計画の作成
・市文化事業団、荒馬座との打ち合わせ

6月 ・お囃子、踊り手の役割分担決定 ・脚本、構成、新しい踊りの確認及び練習
・小道具補修及び作成 ・鶺鴒舞の実行委員会の紹介と実施計画の発表

7月 ・鶺鴒舞の一連の振り付けの確認及び練習
・小道具補修及び作成 ・衣裝修繕及び作成(保護者・地域Jサポーター)

8月 ・荒馬座の演舞指導①(8月2日)
・鶺鴒舞の一連の振り付けの確認及び練習 ・小道具補修及び作成
・衣裝修繕及び作成(保護者・地域Jサポーター)(8月6日)



【荒馬座の演舞指導(8月2日)】

9月 ・体育祭で披露(9月10日) ・「ひたち秋祭り」にむけての隊形、動きの確認及び練習
・荒馬座の演舞指導②(9月13日)

10月 ・「ひたち秋祭り」リハーサル(10月3日) ・「ひたち秋祭り」への参加(10月9日)
・第4回日本PTA関東ブロック研究大会茨城大会で伝統芸能発表校として参加(10月21日)
・十王地区運動会への参加(10月23日)



【「ひたち秋祭り」(10月9日)】

【PTA 関東プロ大会(10月21日)】

【十王地区運動会(10月23日)】

11月 ・学校だよりでの紹介 ・小道具, 衣装の整理と鶺鴒室の方付け

12月 ・活動成果の反省と考察 ・1年生への引き継ぎの計画と準備"

1月 ・1・2年合同練習会 ・小道具, 衣装の整理

2月 ・1・2年合同練習会 ・小道具, 衣装の整理
・1・2年生による鶺鴒舞の引き継ぎ式及び2年生の演舞

5 成果

- 主体的・自立的な活動を通して, 生徒相互, 生徒と教職員の好ましい人間関係を築くことができた。
- 継承活動によって異学年交流を深かめ, 自他の良さを認め合うことにより, 自己有用感を高めることができた。
- 郷土について知り, 地域や保護者との関わりを通して, ふるさと十王を愛する心を育成することができた。
- 「鶺鴒舞」を地域に発信することにより, 地域の方々が学校の取組を理解し, 進んで協力する雰囲気が醸成された。

6 課題

- 衣装の老朽化による衣装づくりに係る財源の確保
- 教職員の異動に伴う指導力の低下の克服